

広報 **いが市**

11.1

No.216

2014年（平成26年）11月1日号

【特集】 広報いが市 10 周年 2

第 68 回 芭蕉祭 4

伊賀市の決算状況を報告します 8

市政功労賞・善行賞受賞者 14

11月11日～12月10日は
“差別をなくす強調月間”です 15


放課後児童クラブ利用希望者募集 18

11月の二次救急実施病院 27

※写真は、伊賀市が誕生してから現在までの「広報いが市」の表紙です。伊賀市市制 10 周年を迎え、「広報いが市」は 216 号となりました。

2014
旅
しよう。

芭蕉さんのころ
ふるさとの想い



松尾芭蕉翁生誕370年 三重県伊賀市

伊賀市は市制10周年を迎えました。そして…

広報いが市 も 10周年

2004年11月に発行した「広報いが市」創刊号



10年!

2004年(平成16年)に伊賀市が誕生してから10年がたち、市制10周年と同時に、「広報いが市」も10周年を迎えました。市からのお知らせや催しの案内、市内のできごとなどをお伝えして10年、本紙で第216号となりました。創刊号の表紙を飾ったのは、伊賀市誕生の年に生まれた赤ちゃんでした。あのとときの赤ちゃんが今は10歳。生き生きと過ごす10歳の少年です。広報いが市も、これまで以上にわかりやすく役に立つ広報紙めざして成長し続けます!

▲創刊号発行から10年。あのと
きの赤ちゃんは、プロ野球選手
を夢見る、笑顔のすてきな少年
に成長しました。市内でお気に
入りの場所は大村神社だそう。



市の広報活動には、市民の皆さんに さまざまな形でご協力いただいています。

▶創刊号から「広報いが市」の音訳をしてくださっている“音訳グループしのび”の岸森千賀子さん(右)と石山淑子さん(左)。広報紙には図版や写真も多く、わかりやすく伝えるよう工夫しながら音訳してくださっています。



◀「点訳奉仕グループあい」の松本明美さん。広報いが市を8人で点字に訳してくださっています。12ページの広報は点字にすると90ページもの量になるのだそうです。

▶パソコンの専用ソフトで、点字のデータを1文字1文字作ります。点字プリンタで出力した点字版広報いが市。



▲行政情報番組ウィークリー伊賀市の市民スタッフのひとり、日置智啓さん。番組の特集などで活躍していただいています。「広報いが市」でよく読む記事は、上野総合市民病院の職員によるコラム「カラダのことおしえて!」だそうです。

伊賀市とともに。

広報いが市の歩み、10年

▲平成16年、伊賀市の誕生とともに広報いが市の歴史が始まりました。当時は1カ月に1号の発行でした。



▲鮮度の高い情報を掲載するため、平成18年度からは、1カ月に2回の発行になりました。特集やコラムなどを掲載する1日号とは違い、15日号は表紙もお知らせ記事のスペースとし、1日号に入りきれない情報を盛りだくさんに掲載できるようにしました。



▶平成25年10月からは、題字を変更し、1日号の表紙を全面写真としました。表紙写真は、このあと平成26年5月からカラーになり、現在に至ります。表紙写真を通して、毎月市民の皆さんの生き生きとした表情や、伊賀市のすばらしい風景などをお届けしています。

広報いが市では、よりよい広報紙にするために、皆様のご意見やご感想をお待ちしています。

岡本市長にとっての

伊賀市生誕10周年！

伊賀市が誕生して、10年がたちました。合併のときに生まれた子どもたちが、今年で10歳になります。おぎやあと生まれた赤ちゃんも、小学校4年生になり、しっかりと勉強やスポーツにいきなすむようになるだけの年月、それが10年です。

公務で他市の市長などとお目にかかって話をする中で、最近改めて感じるのは、伊賀市ということ、実にたくさん可能性を秘めた土地柄だということです。歴史があり、豊かな文化と自然を有し、さらには、大阪、京都、名古屋に近いという立地の良さもあります。伊賀は山国といわれますが、江戸時代は船便が伊賀まで来ていました。

伊賀に住む私たちは、現在の伊賀の姿だけにとらわれることなく、伊賀が持っている可能性を最大限に生かしたまちづくりを進めていかななくてはなりません。

伊賀市が誕生して10年。さらに10年がたてば、合併の年に生まれた子どもたちは20歳です。そのときには、生まれ育ったこの土地に愛着と誇りを持って、伊賀市を作ってくれてくれることでしょうか。



10周年を迎えた今、10年後、さらにもっと先と、未来を見据えることが、一人ひとりにとって必要ではないかと考えます。



平成26年度(第68回)

芭蕉祭

俳聖松尾芭蕉の業績を称え遺徳を偲ぶ「平成26年度(第68回)芭蕉祭」が、10月12日、上野公園を中心に行われました。

芭蕉翁銅像、文学碑への献花、献菓のあと、上野公園内の俳聖殿前で厳かに式典が行われました。式典は、「芭蕉祭子ども合唱団」による「芭蕉さん」の斉唱で始まり、献詠俳句特選句の披講、懸額除幕、各受賞者への表彰などが行われました。

今年の献詠俳句は、全国各地・世界各国から、一般の部に8,520句、テーマの部に2,020句、児童・生徒の部に27,041句、英語俳句の部に32カ国から1,261句、連句の部に143巻の応募がありました。各部門の特選句と、一般の部で入選した市内の皆さんの句を紹介いたします。

【問い合わせ】

文化交流課 ☎22・9621 FAX22・9628

一般の部 特選

▼有馬朗人 選

雁塔は経書を蔵し鳥渡る
松籟の空に高鳴る仏生会

豊中市 小畑晴子
津山市 岸しのぶ

▼稲畑汀子 選

一瞬と思ふ昼寝の長さかな
被災地を癒し合ひつゝ鳥帰る

伊賀市 子日康子
仙台市 小島左京

▼茨木和生 選

登りたき峰の一つに雲の峰
炎天へ一瀑吸はれ行く如し

津市 齋藤千代子
金沢市 今村征一

▼宇多喜代子 選

一湾も一川も梅雨夕焼なか
熊と鮭千古のままに秋の川

八戸市 中村洋子
北広島市 水口茂

▼岡崎光魚 選

驟雨去る牛の睫のしづくして
小突かれて毛虫ドーナツ形に擬死

伊賀市 永井みよ
伊賀市 土井陽代

▼小澤實 選

賑やかに課外授業の稲を刈る
ハンカチに白糸刺繍盛り上がる

室蘭市 青野時子
東京都杉並区 岡本春水

▼鍵和田柚子 選

戦記繰るひたすら紅き冬林檎
草笛にくさぶえ応へ伊賀の里

津市 荻山千鶴代
東京都港区 南部信子

▼金子兜太 選

魂鎮む茶の花咲けり知覧なる
アマゾンに挑む米寿や移民の日

春日部市 小柳満
ブラジル 竹下澄子

▼塩田敦柑子 選

父祖の田を守る難しさ土用入り
旅客機の墜落疑惑夏の闇

伊賀市 森本禾穂
豊中市 杉山桜寿

▼棚山波朗 選

八千草や切れては続く翁みち
水やれば箱庭に川生まれけり

伊賀市 福山良子
豊中市 小畑晴子

▼西村和子 選

めつむりて薫風を聞く芭蕉像
滝行者水になるまで合掌す

浜松市 上野文子
小平市 鈴木昇一

▼長谷川權 選

今年竹美しき頃男山
日本の空に瓦や桜咲く

大和高田市 卜部千代子
愛知県 大平和男

▼星野椿 選

菊の名をおもひのほかといふ贈
溪流の音も馳走の鮎の宿

西尾市 蓮沼たけし
伊賀市 森中幸枝

▼正木ゆう子 選

不器用に包みて砂糖黍長短
夫の忌や南瓜の花とハーモニカ

福知山市 山内利男
長崎市 並川友子

▼三村純也 選

水透けて虹鱗の斑のゆらめきぬ
乾杯の声ほどビール飲めざりし

堺市 伊藤とし子
大和高田市 卜部千代子

▼宮田正和 選

信号の青に踏み出す木の芽晴
花火果てほつほつ窓の灯りけり

川口市 滝本史代
伊賀市 桑原智代美



英語俳句の部 特選

on barbed wire a white dove sits alone - Hiroshima Day
 (有刺鉄線に白鳩一羽ヒロシマ忌)
 C Mohsen Farsani モーセン・ファルサニ イラン/フランス

lying together after their lonely whirling fallen leaves
 (一葉づつ舞ひて大地に積む落葉)
 Francesco de Sabata フランチェスコ・デ・サバタ イタリア

連句の部 特選

▼大野鶴士 白根順子 西田青沙

※半歌仙『朝露』の巻 石川県 和田忠勝
 密田妖子

共選(五十首順)

朝露に汚れて涼し瓜の泥

捌 芭蕉翁

厨に届く郭公の声

密田妖子

遊学の息子永らく沙汰もなし

谷本綾子

いつの間にやら髭を蓄へ

瀬戸瑞枝

良き月とラインに載せる風流氏

中村清子

辻を曲れば匂ふ焼き栗

池田みち子

納経の安芸の宮島秋の潮

綾

雅楽ゆかしき公達の舞

綾

映画館彼の手そつと重なり

瑞

嘘と知りつつ断ち切れぬ恋

妖

原発の廃炉を願ふデモの列

み

暇にまかせて削る魚の目

清

冬ざれの林にかかる月の舟

瑞

思はぬところ熊が現れ

清

蔵出しの銘酒抱へる好々爺

妖

パントマイムで話補ふ

み

山頂の天守を包む花の雲

み

千の風船放つ青空
 平成二十六年七月十六日 満尾 密田宅

テーマの部 特選

▼片山由美子 選

清明や祝詞に交る鳥の声
 北になほ山河ありけり鳥雲に

名古屋市 光田道子
 高山市 小林昌子



〔保育園・幼稚園・小学校一〜三年〕

▼北村保 北村みち 佐々木経子 西村八洲子 松本ちい 共選(五十首順)

カミナリさんふとんのなかまでこないでね
あかちゃんとおつべあわせてあせかいた
バツタさんくるまのなかでかくれんぼ
ひまわりはぼくのしんちようふたつぶん
おはかにねほおずきのひがともつたよ
べらんだのおくらがおおきなつのをだす
はすの花はじめてひらく夜明けです
おまつりのやたいのあかりあとひやく円
あめんぼうにんじやみたいにするべつて
新かん線らい雨に向かい一直線
先生の夏の絵のはがき山の風
波が引くいそいでひろつたさくら貝

〔小学校四〜六年〕

▼下村哲朗 土井陽代 濱地和恵 藤井充子 山村勝子 共選(五十首順)

水門のマンホールの絵のやけている
通学の大川夜はほたる飛ぶ
友達ときそつてあみでどじょうとり
とりにがすアマゴのせびれきらきらと
台風のひなんようぐに笛もいれ
トンボ飛ぶペダルこぎこぎ図書館へ
負け試合汗と涙をふくタオル
弟とつないでる手に螢来る
キャンプでの火おこしとても難かしい

花垣小学校四年 田中朱音
柘植小学校四年 澤井綾
新居小学校四年 長屋椋大
上野西小学校五年 植村朋晃
府中小学校五年 奥永航
上野西小学校五年 家喜規之
上野西小学校六年 西出智紀
上野西小学校六年 北寺瑚実
上野西小学校六年 吉川緋彩

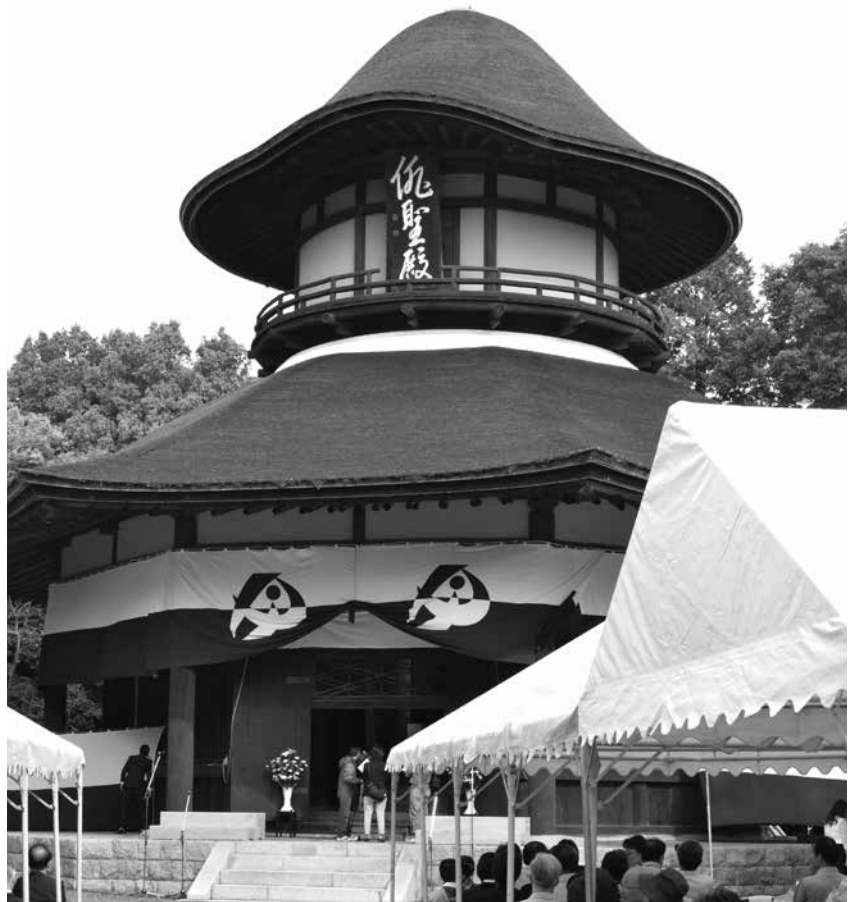


〔中学校・高等学校〕

▼喜多富美 永井みよ 東構東子 福山良子 横田緑市 共選(五十首順)

夕立の後の水車の板重く
秋鮭の入荷知らせる鐘の音
宿題の汗のえんぴつ持ちなおす
逃げ水の向こうに見える道しるべ
入道雲砂丘の足跡すぐ消える
地藏盆母に代わって店の番
トマト切る雲は毎日あたらしく
坂道を下って見えた蜃気楼
山の肩かすめて消えし流れ星
目覚しをセットし春の灯を消しぬ

長崎県立大村城南高等学校二年 松川みさき
長崎県立大村城南高等学校二年 原口知也
長崎県立大村城南高等学校二年 中山杏
長崎県立大村城南高等学校二年 青山翔
長崎県立大村城南高等学校二年 小川空
長崎県立大村城南高等学校二年 福壽武俊
長崎県立大村城南高等学校二年 澤野晴香
長崎県立大村城南高等学校二年 内田直美
長崎県立大村城南高等学校二年 小幡朝美
長崎県立大村城南高等学校二年 大西花音



一般の部 入選

▼有馬朗人 選

青梅雨や牧牛に置く塩の皿 西明寺 永井みよ
 遠山に日の暮れ残る大暑かな 上野中町 下村哲朗

▼稲畑汀子 選

万緑や山湖大きく静もれる 上野丸之内 藤井充子
 霧重し伊賀にも隠れ切支丹 上野茅町 森井まさゑ
 結願の杖を涼しく納めけり 山畑 寺尾照
 峡住みに海は景観土用浪 治田 西田扇女
 山の日を得て光る露消ゆる露 山畑 北村みち

▼茨木和生 選

社殿なき花の窟の浜万年青 真泥 上田幸子

▼宇多喜代子 選

夏山を背負つて太き一古刹 上野茅町 森井まさゑ
 右いせみち左は何処へ花の雲 朝屋 神尾早智子

▼岡崎光魚 選

早星赤し鉄鎖に田小屋閉づ 緑ヶ丘南町 谷本まさ子

切支丹墓域笹子の鳴くばかり 上友生 橋本良
 築袖の鮎汲む大き攪網入れて 緑ヶ丘南町 松本ちい
 ひからびて蚯蚓梵字のやうや寺址 島ヶ原 島井節

遠花火軒下狐のとほりゆく 西山 川口登子

▼小澤實 選

味噌小屋の粗き羽目板日脚伸ぶ 西山 奥谷かち子

▼鍵和田柚子 選

宇治川のごうぐとゆく梅雨の橋 森寺 喜多柚子
 高だかと鹿垣組めり学校園 柘植町 浜地和恵

▼金子兜太 選

八月や二度と汚さじ美し国 荒木 濱田愛子
 村に住むこの楽しみや天の川 高山 山島勝年
 嫁ぐ子の夫は漁師やあたたかし 山畑 山下久美
 「元氣です」福島からの桃届く 中馬野 中森里江
 恋人よひじきを炊いてくれないか 石川 今堀敬一

▼塩田薮柑子 選

年金の目減りに愁う梅雨の闇 玉滝 川波楊花
 娘の遺品纏うことなき浴衣抱く 馬田 船見ふみへ
 春惜しむ廃止されたるバス路線 阿山ハイツ 浅野睦月

▼棚山波朗 選

芭蕉忌を身近に修す伊賀住ひ 岩倉 西村八洲子
 蕨取り置きし自転車遠くなり 湯舟 小倉葉子

▼西村和子 選

どこからか水の音して夏座敷 緑ヶ丘南町 山本カヨ子
 沙羅散るや明日日咲く蕾あまた持ち 三田 土井陽代
 陽だまりに少女の居場所冬の町 長田 百上進一
 草色のあかりがともる螢籠 猪田 中井康子

▼長谷川權 選

新涼をつれて峠を越えにけり 上野西大手町 前出美千子
 翁はいま未踏の雲の峰をゆく 緑ヶ丘本町 大野利江
 さぶろうと名のつくめだか夕すずみ 桐ヶ丘 福島伸孝
 大雨に朝顔の種流れけり 上野丸之内 池村悦子
 束の間の夜風楽しむ明易し 上野西大手町 前出公子

▼星野椿 選

バス降りてふるさとに似し青田道 上野丸之内 藤井充子
 旅ひと日足湯に癒す花疲れ 上野丸之内 森井久子
 万緑や歴史秘めたる伊賀盆地 上野桑町 福沢義男
 町の灯の届かぬ川辺蛩とぶ 妙楽地 川本和子
 俳諧の広がる伊賀路時鳥 山畑 寺尾照

▼正木ゆう子 選

峡谷は奇名巨巖や時鳥 岩倉 澤井重正

▼三村純也 選

この町に誇る城あり風若葉 千歳 豊岡はつ子

テーマの部 入選

▼片山田美子 選

るす番の子としりとや小鳥来る 山畑 米野てるみ
 海鳥の鋭き声や冬の暮 柏野 和田柏忠
 木から木へ鳥の遊べる庭涼し 朝屋 福嶋スミ
 子燕の行き来見てをり昼休 朝屋 上谷美喜
 名も知らぬ鳥来てひと日轉れり 山畑 山下久美
 時鳥わが家の上をはすかひに 猪田 中井康子

▼宮田正和 選

鉄屑に鉄屑つまれ炎天下 猪田 福井伶子
 瑠璃揚羽笹のゆらぎに見失ふ 柘植町 中西昭子
 蓮の葉に風の大きくなりけり 山畑 米野てるみ
 ひと谷の棚田潤ふ青嶺かな 馬場 小倉秋子
 あかときの静けさ稲の花日和 山出 菊山時子
 村十戸新盆ひとつ祀りけり 柘植町 平野博
 ふるさとの兄息災や麦の秋 柘植町 橋本秀子
 沙羅の花落ちて朝日の散らばりぬ 阿山ハイツ 白井弘美

▼宮田正和 選

壁掛けにして幼子の夏帽子 中柘植 岡村史子



伊賀市の決算状況を報告します

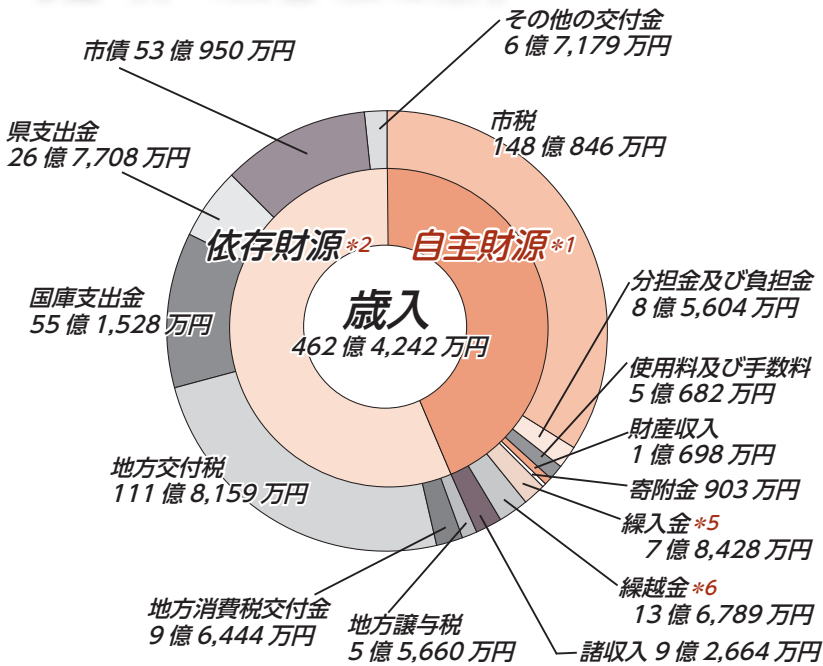
報告します

平成25年度の決算状況

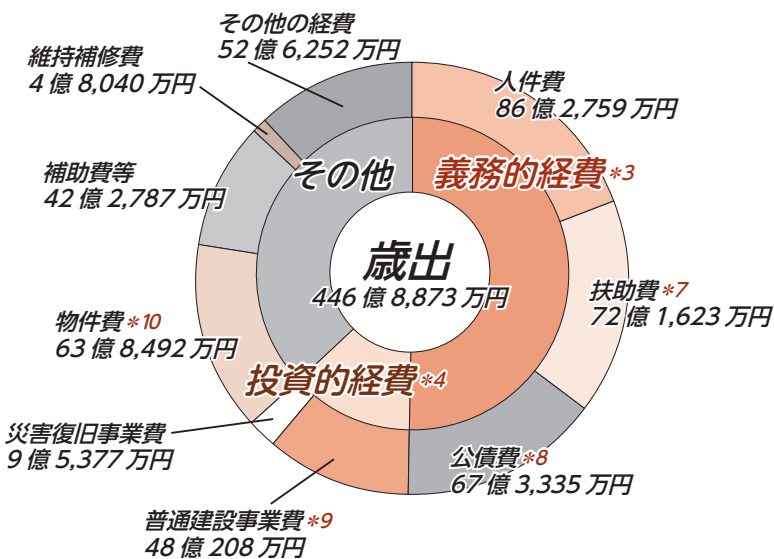
9月に行われた第5回伊賀市議会（定例会）で、平成25年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回はその概要をお知らせします。
 ※表示単位未満を四捨五入していますので、決算書の金額（円単位）と一致していない場合があります。

■ 一般会計の決算状況

◆ 歳入 462億4,242万円

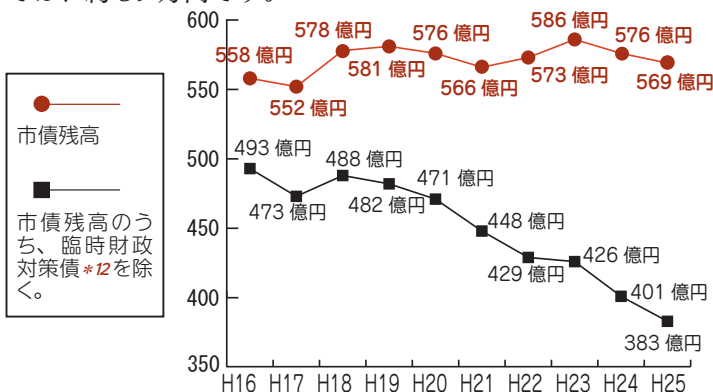


◆ 歳出 (性質別) 446億8,873万円



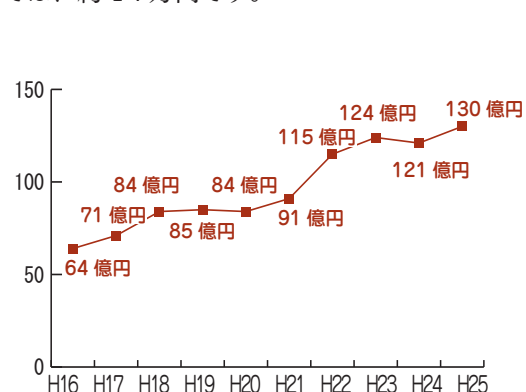
◆ 市債残高 569億円

市債^{*11}は、いわゆる市の借金です。市民一人あたりでは、約59万円です。

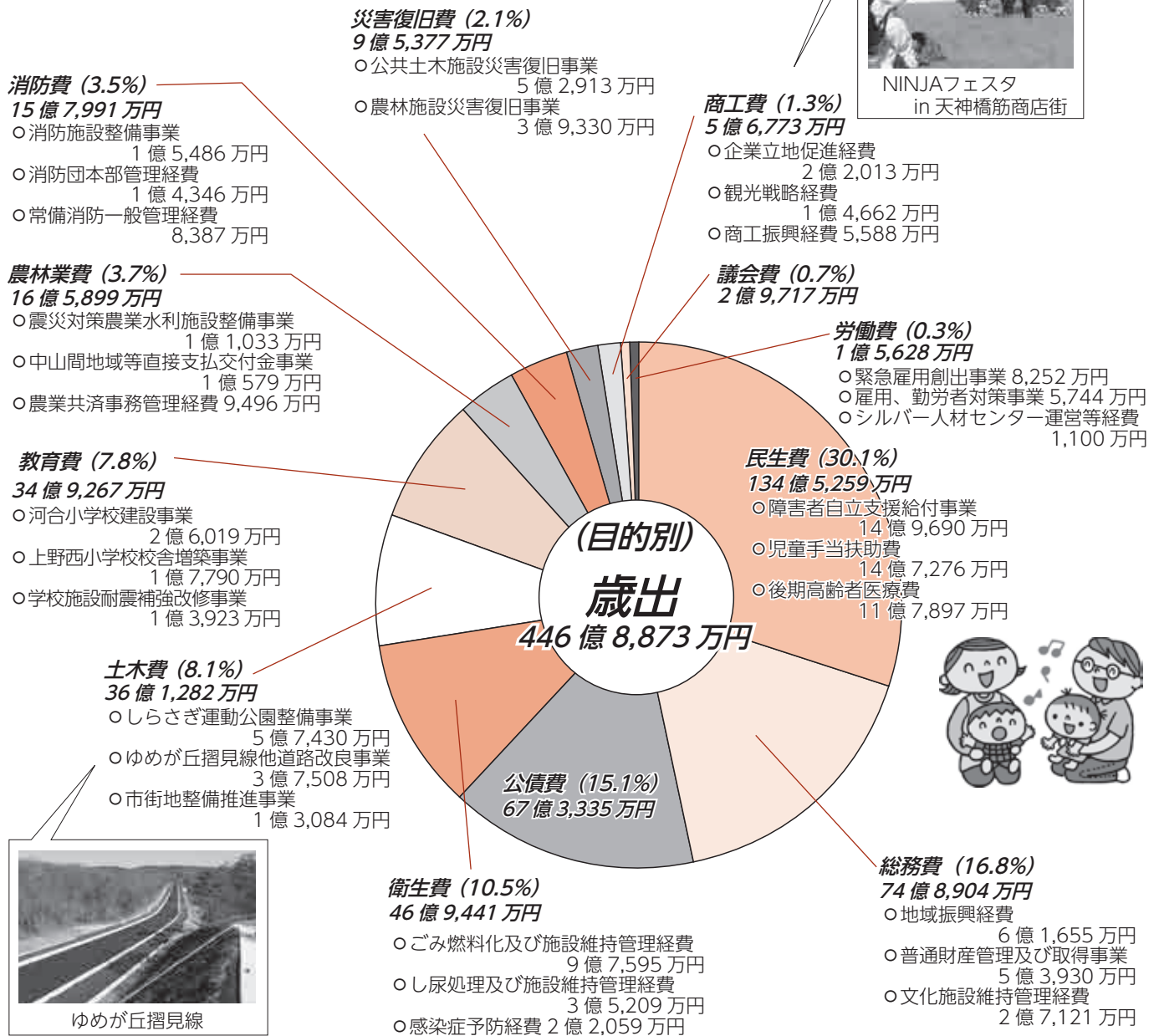


◆ 基金残高 130億円

基金は簡単にいうと市の貯金です。市民一人あたりでは、約14万円です。



主な事業



財政のことは

- *1 **自主財源**：地方公共団体が自主的に収入できる財源
- *2 **依存財源**：国や県からの交付金など
- *3 **義務的経費**：人件費・扶助費・公債費など支出が法令で義務付けられている経費
- *4 **投資的経費**：その支出が資本形成に向けられるもの。家計でいう自動車や電化製品の購入など
- *5 **繰入金 (⇔繰出金)**：一般会計と特別会計、特別会計同士など一方の会計の収支不足を補てんするために他方の会計から充当されるお金
- *6 **繰越金**：決算の結果、前年から繰越しとなったお金
- *7 **扶助費**：児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などに対して、市が行う支援に要する経費
- *8 **公債費**：市債の元金と利子の返済金
- *9 **普通建設事業費**：道路、施設などを作ったり、施設を増築したりする経費
- *10 **物件費**：人件費や扶助費・補助費等・普通建設事業費などを除く経費の総称
- *11 **市債**：主に道路や建設事業などのための借金。これは公共施設は現在の市民だけでなく、将来にわたり多くの世代で利用するものなので、一度に税金でまかなうよりも、市債を借りて長期に渡り返済することで、世代間の公平性を図ろうという考えに基づいています。
- *12 **臨時財政対策債**：地方交付税の交付原資の不足に伴い、地方交付税に代わる地方一般財源として発行可能となった特例的な地方債

◆市有財産の状況

土地・建物	区分		土地	建物	主な施設
	行政財産	公用財産	84,937㎡	33,105㎡	庁舎・消防施設など
		公共用財産	3,666,371㎡	462,335㎡	学校・図書館・公営住宅・公園など
	普通財産		2,872,281㎡	34,612㎡	上記以外（山林など）
合計		6,623,589㎡	530,052㎡		

■特別会計の決算状況

市には、国民健康保険事業など 10 の特別会計と 2 つの財産区特別会計があります。特別会計全体の基金残高は約 34 億円で 2 億円の増、市債残高は 181 億円で 4 億円の増です。

会計名	収入額	支出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	109 億 1,440 万円	101 億 1,663 万円	7 億 9,777 万円	12 億 1,573 万円	1,456 万円
住宅新築資金等貸付	3,084 万円	1 億 3,154 万円	▲ 1 億 70 万円	11 万円	7,877 万円
駐車場事業	3,781 万円	3,771 万円	10 万円	—	—
介護保険事業	96 億 2,016 万円	95 億 90 万円	1 億 1,926 万円	1 億 876 万円	—
農業集落排水事業	26 億 8,139 万円	25 億 5,873 万円	1 億 2,266 万円	9 億 1,272 万円	107 億 6,230 万円
公共下水道事業	8 億 2,533 万円	7 億 9,370 万円	3,163 万円	9 億 2,461 万円	71 億 278 万円
浄化槽事業	2,307 万円	2,155 万円	152 万円	4,518 万円	1 億 1,297 万円
サービスエリア	1,344 万円	1,289 万円	55 万円	3,716 万円	—
市街地再開発事業	2 億 9,625 万円	2 億 9,625 万円	—	—	—
後期高齢者医療	9 億 6,728 万円	9 億 4,874 万円	1,854 万円	—	—
島ヶ原財産区	2,935 万円	2,867 万円	68 万円	1 億 7,688 万円	—
大山田財産区	5,033 万円	4,899 万円	134 万円	5,678 万円	—
合計	254 億 8,965 万円	244 億 9,630 万円	9 億 9,335 万円	34 億 7,792 万円	180 億 7,138 万円

■財政の早期健全化・再生に関する指標

(財政健全化法に基づく指標)

平成 20 年に施行された法律によって、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものとして、健全化判断比率を公表することが義務付けられています。

伊賀市の今年度の数値は、昨年度の数値よりも改善しており、すべての指標においても早期健全化基準・財政再生基準を下回りましたが、県内の市の中では下位のほうになっています。

	実質赤字比率*1	連結実質赤字比率*2	実質公債費比率*3	将来負担比率*4	資金不足比率*5 病院事業 水道事業
伊賀市 (昨年度数値)	—	—	14.2 (13.9)	105.3 (114.0)	—
早期健全化基準	11.88	16.88	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

※実質赤字額・連結実質赤字額がないため、また資金不足比率は算定されないため、「—」と表記しています。

※速報値

*1 実質赤字比率：普通会計（行政サービスを行う一般会計など）の歳出に対する歳入の不足額（赤字額）が標準財政規模*6に占める割合

金返済額）の割合の3カ年平均値

*2 連結実質赤字比率：すべての会計の赤字額と黒字額を合わせて計算した赤字額が標準財政規模に占める割合

*4 将来負担比率：将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

*3 実質公債費比率：標準財政規模に占める公債費（借

*5 資金不足比率：公営企業ごとの営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合

*6 標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模

【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

水道事業

■事業概要

平成 25 年度の主な事業は、伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、上野丸之内、桐ヶ丘、市部・沖地内での配水管布設工事、朝古川浄水場系テレメータ等計装設備改良工事、阿保配水池緊急遮断弁設置工事などを実施しました。

給水区域内配水施設事業では、農業集落排水事業の進捗に合わせて市部、沖地内などで配水管布設替工事を実施しました。

■経営状況

平成 25 年度末における給水戸数は 38,759 戸、年間総配水量は 14,561,280^m、有収水量（水道料金徴収の対象となった水量）は 11,733,066^m、有収率（供給した配水量に対する有収水量の割合）は 80.58% でした。

経営面では、事業収益が 26 億 7,030 万円、事業費用は、25 億 4,879 万円で収益的収支 1 億 2,151 万円の純利益となり、平成 24 年度末処理欠損金 6 億 1,930 万円から減じ、平成 25 年度末未処理欠損金は 4 億 9,779 万円となりました。

今後もより一層の経営努力を行い、併せて安心安全な水道用水安定供給に努めます。

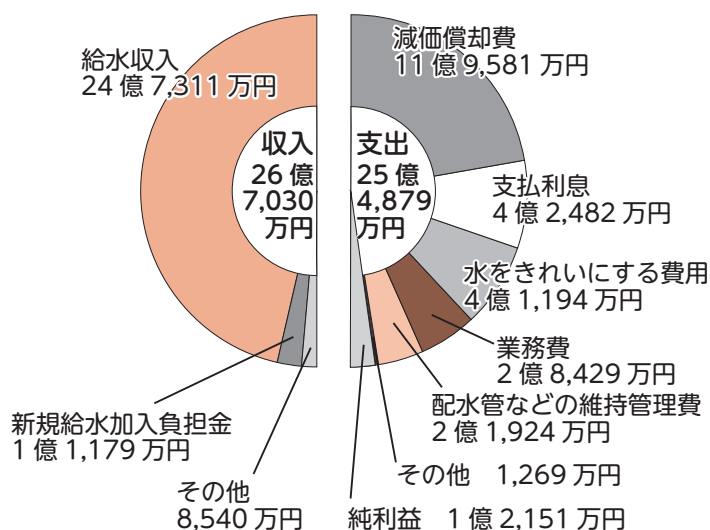
▼小田水源地



■平成 25 年度末の給水状況

現在給水戸数（戸）	38,759
現在給水人口（人）	95,207
配水能力（ ^m / 日）	52,489
年間総配水量 A（ ^m ）	14,561,280
1 日最大配水量（ ^m ）	45,083
1 日平均配水量（ ^m ）	39,894
1 人 1 日平均配水量（ℓ）	419
有収水量 B（ ^m ）	11,733,066
1 人 1 日平均有収水量（ℓ）	338
有収率 B / A（%）	80.58

■平成 25 年度の収入と支出（税抜き）



■市債残高

184 億 7,897 万円



■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む）

		予算額	決算額	繰越額	差引	
収益的収支	事業収益	27 億 8,581 万円	28 億 15 万円	—	増減額	1,434 万円
	事業費用	27 億 2,322 万円	26 億 4,685 万円	—	不用額	7,637 万円
資本的収支	収入	12 億 5,192 万円	12 億 4,133 万円	—	増減額	▲ 1,059 万円
	支出	24 億 3,143 万円	23 億 3,487 万円	9,212 万円	不用額	444 万円

【問い合わせ】 水道総務課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

病院事業

■事業概要

市民病院は三重県西部の基幹病院として、全人的医療を提供し広く市民に信頼される病院であることを基本理念とし、その役割を担ってきましたが、全国的な医師不足が続くなか大変厳しい経営状況が続いています。こうした状況の下、経営の建て直しをはかり、地域の中核病院としての使命達成と住民の健康保持を図るため、職員が一丸となって改革に取り組んでいます。

平成 25 年度は、老朽化した X 線装置を更新し、救急医療体制強化のため人工呼吸器やセントラルモニタ、ベッドサイドモニタを増設するなど医療機器の充実に努めました。また、災害拠点病院施設整備事業の採択を受け、ヘリポートの設置や自家発電設備工事、DMAT 資器材の購入などを 25 年から 26 年にかけて行うことで、施設環境の整備に努めています。

■各科利用状況 (単位：人)

	区 分	外 来		入 院	
		前年度比		前年度比	
上野総合市民病院	内 科	15,931	▲ 567	10,430	2,304
	循環器科	4,216	801	2,045	1,683
	小 児 科	30	▲ 4,511	0	0
	外 科	11,722	1,569	14,247	▲ 670
	整形外科	11,323	964	8,341	404
	脳神経外科	387	51	0	0
	もの忘れ外来	365	194	0	0
	神経内科	1,339	499	0	0
	婦 人 科	2,479	▲ 409	0	0
	眼 科	689	▲ 141	0	0
	耳鼻咽喉科	1,134	▲ 477	0	0
	皮 膚 科	964	▲ 6	0	0
	泌尿器科	3,222	▲ 782	546	546
	放射線科	2,110	▲ 178	0	0
合 計	55,911	▲ 2,993	35,609	4,267	
健診センター	一般健診	4,501	223	—	—
	人間ドック (一泊)	34	▲ 5	—	—
	人間ドック (日帰り)	1,119	247	—	—
	PET-CT健診	126	5	—	—
	PET-CT 保険適用	151	38	—	—
	合 計	5,931	508	—	—

■経営状況

病院の利用状況は、外来患者数が延べ 55,911 人 (1 日平均 229 人*)、入院患者数は延べ 35,609 人 (1 日平均 98 人) となりました。

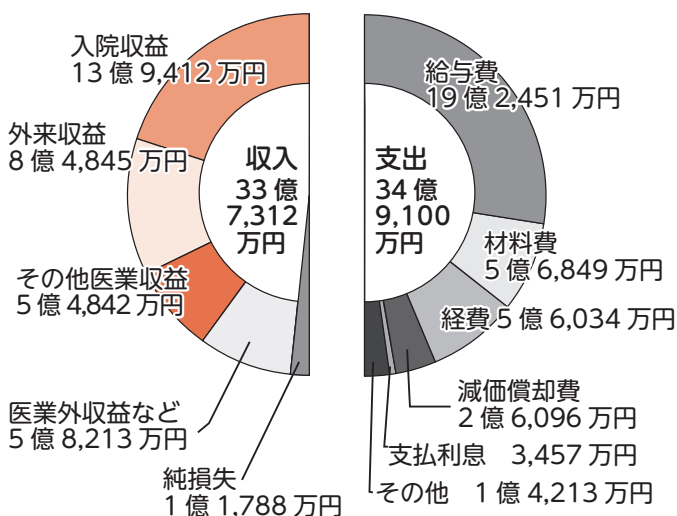
決算の状況は、事業収益 33 億 7,311 万円、事業費用 34 億 9,099 万円で 1 億 1,788 万円の純損失が生じ、平成 24 年度までの未処理欠損金 (累積赤字) 31 億 9,239 万円を合わせ平成 26 年 3 月 31 日の未処理欠損金が 33 億 1,027 万円となりました。

今後もより一層の経営効率化を進めるとともに、地域の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たせるように努力していきます。



* 外来患者 1 日平均人数は、外来患者数を年間通常診療日数の 244 日で割っています。

■平成 25 年度の収入と支出 (税抜き)



■市債残高

17 億 8,652 万円

■病院事業の決算 (消費税・地方消費税を含む)

		予 算 額	決 算 額	繰 越 額	差 引	
収益的収支	事業収益	36 億 5,194 万円	33 億 8,339 万円	—	増減額	▲ 2 億 6,855 万円
	事業費用	36 億 5,186 万円	34 億 9,950 万円	—	不用額	▲ 1 億 5,236 万円
資本的収支	収 入	2 億 8,369 万円	2 億 1,155 万円	—	増減額	▲ 7,214 万円
	支 出	3 億 5,219 万円	2 億 8,353 万円	2,754 万円	不用額	▲ 4,112 万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院経営企画課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565

■一般会計の執行状況



【歳入】

区分	予算現額	収入済額	収入率
市税	141億9,925万円	82億3,467万円	58.0%
分担金及び負担金	8億6,662万円	2億9,591万円	34.1%
使用料及び手数料	5億1,066万円	2億6,587万円	52.1%
繰入金	5億8,989万円	0円	0.0%
繰越金	15億5,369万円	15億5,370万円	100.0%
諸収入	5億5,829万円	1億6,616万円	29.8%
財産収入	1億2,483万円	9,573万円	76.7%
寄附金	1,121万円	196万円	17.5%
地方譲与税	5億6,757万円	1億5,250万円	26.9%
地方消費税交付金	11億498万円	6億3,530万円	57.5%
地方交付税	108億4,185万円	72億2,981万円	66.7%
国庫支出金	53億7,746万円	19億6,898万円	36.6%
県支出金	30億1,560万円	3億3,816万円	11.2%
市債	69億7,410万円	0円	0.0%
その他の交付金	4億5,895万円	1億7,260万円	37.6%
合計	467億5,495万円	211億1,135万円	45.2%

【歳出】

区分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	3億2,012万円	1億6,544万円	51.7%
総務費	62億8,028万円	19億6,311万円	31.3%
民生費	140億1,300万円	52億1,230万円	37.2%
衛生費	46億6,566万円	16億7,177万円	35.8%
労働費	2億3,173万円	7,346万円	31.7%
農林業費	19億14万円	5億7,770万円	30.4%
商工費	5億1,005万円	3億960万円	60.7%
土木費	39億6,750万円	10億4,561万円	26.4%
消防費	25億9,877万円	7億3,644万円	28.3%
教育費	40億3,685万円	11億4,634万円	28.4%
災害復旧費	15億4,294万円	3億2,142万円	20.8%
公債費	66億5,791万円	33億1,324万円	49.8%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	467億5,495万円	165億3,643万円	35.4%

■特別会計の執行状況



会計名		予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	101億4,951万円	46億7,798万円	46.1%	46億4,586万円	45.8%
	住宅新築資金等貸付	1億2,572万円	1,303万円	10.4%	1億1,287万円	89.8%
	駐車場事業	3,903万円	1,796万円	46.0%	957万円	24.5%
	介護保険事業	93億9,927万円	41億4,915万円	44.1%	41億604万円	43.7%
	農業集落排水事業	17億6,209万円	5億296万円	28.5%	8億1,541万円	46.3%
	公共下水道事業	8億4,137万円	3億6,866万円	43.8%	3億413万円	36.1%
	浄化槽事業	2,258万円	1,027万円	45.5%	564万円	25.0%
	サービスエリア	1,346万円	639万円	47.5%	295万円	21.9%
	後期高齢者医療	10億8,443万円	2億9,708万円	27.4%	3億6,421万円	33.6%
	財産区	島ヶ原財産区	2,787万円	127万円	4.6%	2,227万円
大山田財産区		2,455万円	1,361万円	55.4%	86万円	3.5%
合計		234億8,988万円	100億5,836万円	42.8%	103億8,981万円	44.2%

伊賀市の予算執行状況を報告します

ー平成26年度上半期の財政状況ー

市の財政状況を皆さんに知っていただくため、予算に対する歳入・歳出の執行状況などを報告します。平成26年度上半期（4～9月）の予算執行状況（9月30日現在）について、お知らせします。

※表示単位未満を四捨五入していますので、予算書の金額（千円単位）と一致していない場合があります。

■市税の状況(滞納繰越分を含む)



区分	予算現額	収入済額	収入率
市民税	57億2,932万円	27億8,385万円	48.6%
固定資産税	74億8,452万円	48億8,604万円	65.3%
都市計画税	7万円	0円	0.0%
軽自動車税	2億4,623万円	2億3,693万円	96.2%
市たばこ税	6億7,891万円	2億9,692万円	43.7%
鉱産税	5万円	3万円	60.0%
入湯税	6,015万円	3,090万円	51.4%

■市債・企業債残高



会計名	現在高
一般会計	540億円
特別会計	177億円
企業会計	196億円
合計	913億円

■一時借入金はありません。



【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

市政功労賞・善行賞受賞者

市の公益増進や市政の振興発展に貢献された方々にお贈りする市政功労賞と奉仕活動や善行のあった方々にお贈りする善行賞の受賞者が決まり、市制施行10周年を記念し、11月1日に表彰状などを贈呈します。

【市政功労賞】



穂積 澄子さん (鳥ヶ原)

平成15年2月、「おかみさんの会」発足にあたり、私財を投じ設立に尽力され、平成17年

10月には特定非営利法人「伊賀・鳥ヶ原おかみさんの会」などを設立し、地域の活性化に多大なる貢献をされました。また木工体験を通して木に触れ森林を学ぶことや、都市部の若者との交流などの場づくりとして穂積製材プロジェクト（ホッププロ）を平成19年に立ち上げ、地域振興に貢献されています。

今回の受賞は、私個人ではなく、「おかみさんの会」「穂積製材プロジェクト」の取り組み全体にいただいたものと考えられます。

「おかみさんの会」は、10年前に地域の女性100人で立ち上げ、食の安心安全、地産地消をモットーに、思いやりの心を持って活動してきました。ここまで続けられたのは、お客様や地域の皆さんの応援のおかげと感謝しています。



本村 幸四郎さん (緑ヶ丘東町)

昭和54年旧上野市議会議員に初当選されて以来、伊賀市発足後の平成21年3月まで、旧

上野市議会議員、伊賀市議会議員として永きにわたり地方自治の振興発展に尽力されました。この間、上野市議会議員、副議長、上野市監査委員の公職に加え、上野市議会総務財政常任委員長、議会運営委員長などを歴任され、議会の円滑な運営と地域発展に大きく貢献されました。

34歳で立候補してから、「市民が主役」「開かれた議会」を政治公約として、30年あまり議員活動を行い、上野市議会議員、伊賀市議会議員を、8期務めさせていただきました。

特に、長年の夢であった「伊賀市議会基本条例」が平成19年に制定されたことや、伊賀市を考える会の活動を進め、平成16年には6市町村が合併し伊賀市が誕生したことが、印象に残っています。



故 畑中 尚さん (阿保)

昭和62年に旧青山町議会議員に初当選されて以来、伊賀市発足後の平成17年3月まで、

旧青山町議会議員、伊賀市議会議員として永きにわたり地方自治の振興発展に尽力されました。

この間、青山町議会副議長のほか、青山町議会運営委員長として議会の円滑な運営と地域発展に大きく貢献されました。

【善行賞】



奥田 潔さん (希望ヶ丘)

長年に渡り、区内の道路や歩道、空き地などの草刈りや草引き、周辺の清掃など奉仕作業を続けてこられました。また、自費で道路沿いの歩道などに花を植えるなど環境美化に大いに貢献されました。

美化運動は、私の趣味のようなもので、楽しみながら、草刈りや草引き、花を植えるなどの作業を行ってきました。

今年に入って大病をしてからは、広い範囲の草刈りなどはできなくなってしまいました。これからも、体力の続く限り、できることを続けていきたいと思っています。

補助金などの見直しに対するご意見をお聞かせください

【募集期間】 ※必着

11月1日(出)～30日(日)

【募集内容】

補助金等見直し検討状況に対するご意見

【閲覧方法】 本庁玄関受付・市政再生課・各支所振興課・各地区市民センターにある資料または市ホームページをご覧ください。

【提出方法】

住所・氏名・電話番号・意見の件名を記入し、「ご意見(該当箇所)とそれに対する意見内容」を記載の上、郵送・ファックス・Eメール・持参のいずれかで提出してください。

※持参の場合は、各支所振興課でも受け付けます。

【提出先・問い合わせ】

〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地 伊賀市市政再生課

☎24・9622

FAX 24・2440

✉shisei@city.iga.lg.jp

市の各種補助金などについて、「伊賀市補助金等適正化条例」「補助金等の適正化に関する指針」に基づき見直しを進めています。

人権イベント マップ

11月11日～12月10日は “差別をなくす強調月間”です

市では、「差別をなくす強調月間」にあわせて各地域で
人権に関するさまざまなイベントを開催します。
この機会にご参加いただき、「人権」について考えてみませんか。

阿山会場

阿山地区人権フェスティバル 2014

- ◆と き：11月15日(出) 午後1時30分～
- ◆と ころ：あやま文化センター さんさんホール
- ◆内 容：①人権作品表彰・作文朗読
②人権トーク&コンサート
《演 題》 互いを活かし、共に生きる
《講 師》
田中 ゆかさん&伊藤 ひろしさん
- ※手話通訳・要約筆記・磁気誘導グループ
- ◆問い合わせ 阿山支所振興課
☎ 43-1543 FAX 43-1679



伊賀会場

差別をなくす いがまちの集い

- ◆と き：11月21日(金) 午後7時30分～
- ◆と ころ：ふるさと会館いが 大ホール
- ◆内 容：①人権作品表彰
②講演
《演 題》 「部落差別」の課題は何を問うているのか？
《講 師》 西恩寺 (桑名市)
住職 池田 徹さん
- ※手話通訳・要約筆記・磁気誘導グループ
- ◆問い合わせ 伊賀支所振興課
☎ 45-9108 FAX 45-9120



大山田会場

おおやまだ人権フェスティバル 2014

- ◆と き：11月30日(日)
午後1時30分～
- ◆と ころ：大山田農村環境改善センター
多目的ホール
- ◆内 容：①人権作品表彰・作文朗読
②太鼓演奏・講演
《講 師》
太鼓集団 疾風 (KAZE)
- ※手話通訳・要約筆記・磁気誘導グループ
- ◆問い合わせ 大山田支所振興課
☎ 47-1150
FAX 46-0135



島ヶ原会場

2014 しまがはら人権のつどい

- ◆と き：11月22日(出)
午後1時30分～
- ◆と ころ：島ヶ原中学校体育館
- ◆内 容：①人権作品表彰・作文朗読
②講演
《演 題》 差別意識を考える
～その謎解きの旅～
《講 師》
奈良県人権教育推進協議会
会長 大寺 和男さん
- ※手話通訳・要約筆記・磁気誘導グループ
- ◆問い合わせ 島ヶ原支所振興課
☎ 59-2053 FAX 59-3196



青山会場

2014 人権のつどい

- ◆と き：12月13日(出) 午後1時～
- ◆と ころ：青山ホール
- ◆内 容：①人権作品表彰・作文朗読・青山小学校
と青山中学校からの発信
②講演ライブ～心の授業～
《講 師》 JERRYBEANS
※手話通訳・要約筆記・磁気誘導グループ
- ◆問い合わせ 青山支所振興課
☎ 52-1115
FAX 52-2174



上野会場

人権を考える市民の集い

- ◆と き：12月7日(日) 午後1時30分～
- ◆と ころ：伊賀市文化会館 さまざまホール
- ◆内 容：①人権作品表彰・作文朗読
②人権トーク&コンサート
《演 題》 心が教えてくれること
《講 師》 小西 達也さん
- ※手話通訳・要約筆記・磁気誘導グループ
- ◆問い合わせ 人権政策・男女共同参画課
☎ 47-1286 FAX 47-1288



◆ 申告の季節が近づいています

白色・青色申告の説明会、年末調整説明会

【問い合わせ】 課税課
☎ 22-9613 FAX 22-9618

① 個人白色申告者の記帳説明会

【と き・ところ】

- ① 11月14日(金) 午前10時～正午
ハイピア伊賀 3階
- ② 11月17日(月) 午後1時30分～3時30分
ハイピア伊賀 3階

② 所得税青色申告決算等説明会

【と き・ところ】

- ① 11月12日(水) 午後1時30分～3時30分
名張市武道交流館いきいき (名張市蔵持町里 2928)
 - ② 11月14日(金) 午後1時30分～3時30分
ハイピア伊賀 3階
 - ③ 11月17日(月) 午前10時～正午
ハイピア伊賀 3階
- ※平成26年分青色決算書用紙は確定申告書用紙に同封して送付します。(電子申告の人には送付しません。)
- なお、確定申告書用紙や青色決算書用紙は、国税庁ホームページからダウンロードできます。

【①・②の問い合わせ】

上野税務署 個人課税第一部門 ☎ 21-0289

③ 平成26年分年末調整等説明会

<郵便番号が〒518-0000～518-0227と、
前3桁が〒519の人>

【と き・ところ】

11月19日(水) 午後1時30分～3時30分
三重県伊賀庁舎 7階大会議室
<郵便番号が〒518-0801～518-1429の人>

【と き・ところ】

11月20日(木) 午前10時～正午
三重県伊賀庁舎 7階大会議室

※説明会に関する書類は対象となる人に事前に送付しますので、当日必ず持参してください。不足する書類がある場合は、説明会場または上野税務署で配付します。

【③の問い合わせ】

上野税務署 法人課税部門 ☎ 21-0953

◆ 不正請求を早期に発見し、その抑止力とするため

本人通知制度に登録しましょう

【問い合わせ】 住民課
☎ 22-9645 FAX 22-9643

本人通知制度は、事前に登録した人の住民票の写しなどを代理人や第三者が請求し市が交付したときに、その事実を郵送でお知らせする制度です。

住民票の写しなどを交付したことを通知することで、その請求が不正であった場合の早期発見、個人情報不正使用防止や事実関係の早期究明につながります。

またこの制度は、不正請求を抑止する効果が期待できます。

【登録ができる人】

- 市の住民基本台帳が戸籍の附票に記録されている人
- 市の戸籍(除かれた戸籍含む)に記載されている人

【登録期間】

登録から3年間

【通知対象となる証明書の種別】

- 住民票の写し(除票含む)
- 住民票記載事項証明書
- 戸籍謄本・抄本(除籍・改製原戸籍含む)



○戸籍附票の写し(除附票含む)

※本人通知制度受付日の翌日以降に交付したもの

【本人通知の記載事項】

代理人や第三者に証明書を交付した場合の通知内容は次の4項目です。

- ①交付年月日
 - ②交付証明書の種別
 - ③交付枚数
 - ④交付請求者の種別(本人などの代理人・第三者)
- ※交付請求者の氏名や住所は通知できません。

【登録方法】

登録を希望する人は、本人確認書類(運転免許証など)を持参の上、住民課か各支所住民福祉課で登録の手続きをしてください。

代理人の場合は委任状、法定代理人の場合は戸籍謄本などの資格を証明する書類を持参してください。

【問い合わせ】 住民課 各支所住民福祉課

◆ 市民病院では来春採用の看護師正規職員を募集します

やりがいある職場で働きませんか

【問い合わせ】 上野総合市民病院経営企画課
☎ 24-1111 FAX 24-1565

【対象者】

昭和30年4月2日以降生まれで、看護師免許を持っている人または平成27年4月までに取得見込みの人

【募集人数】 20人程度

※認定看護師、専門看護師取得支援制度があります。

※託児所があります。

【採用予定日】 平成27年4月1日

【給与など】 平成26年度4月現在初任給

〈看護師大学卒 一例〉

○基本給：185,800円

○主な手当（看護師確保手当、夜間看護手当など）
：111,000円

【休日・休暇】 4週8休制（週休2日制）

年次有給休暇・特別休暇・病気休暇・介護休暇など

【選考試験日】 平成27年1月24日(出) 午後

※時間などは応募した人に後日お知らせします。

【選考方法】 作文・面接

【試験会場】 上野総合市民病院

【提出書類】

○平成26年度伊賀市職員採用試験受験申込書

○外国籍の人は、住民票などの在留資格を証する書類

【応募期限】 平成27年1月15日(木)

【応募先・応募についての問い合わせ】

○〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地の1
ふれあいプラザ2階 伊賀市総務部人事課

☎ 22-9605 FAX 22-9616

○〒518-0823 伊賀市四十九町831番地
伊賀市立上野総合市民病院事務部庶務課

☎ 24-1111 FAX 24-1565

※病院見学を随時受け付けています。

◆ 季節の変わりめには、いつも以上の健康管理が必要です

応急診療所だより

【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

市民の皆さんの生命と健康を守るため、休日・夜間に発病したときに、内科・小児科の応急診療が受けられる応急診療所を開設しています。

応急診療所は応急処置を行うところですので、次のことに気をつけて受診してください。

- 薬の調剤は院外処方です。(処方できるのは原則1日分です。ただし、連休・年末年始は除きます。)
- 点滴やレントゲン検査はできません。

○気になる症状がある場合は、早めにかかりつけ医を受診し、夜間や休日の対応についても相談しておきましょう。

○「日中は忙しいから」「夜でもやっているから」などの理由で安易に夜間や休日に受診することはやめましょう。

○受診時は、症状・経過や飲んでいる薬がわかると、受診時の症状説明に役立ちます。

〈秋の健康一口メモ〉

昔から「季節の変わりめに持病が悪化する」「雨が降ると古傷が痛む」などと言われるように、季節や天候の変化と健康の間には深い関係があります。

気温が低く湿度が高いと痛みが出やすい関節痛は、寒い冬よりも秋や春などに多く見られる症状です。二足歩行で立ったり歩いたりする人間は、膝の軟骨に負担がかかり磨り減っていきます。膝には体重の3倍の負担がかかるといわれています。

そこで、改善のための日常生活のポイントを考えてみましょう。

○**体を冷やさない**：冷えると血流が悪くなり、痛みが増します。痛むところを暖めると血行がよくなり痛みが和らぎます。

○**体を動かす**：体を動かすと血行が促進され、血の巡りがよくなります。関節運動として温水プールでの歩行運動は、水の浮力により関節への負担が軽減され、水圧による負担で心肺機能向上も期待されます。

○**筋肉を鍛える**：膝の関節を支えている筋肉は、運動などの衝撃から関節を守る働きを持っています。筋力が衰えるとその部分が悪くなりますので、簡単なストレッチをして筋力を保つ努力をしましょう。

○**椅子に座る**：日常生活の中で関節への負担を減らすために椅子を使いましょう。

○**体重増加に気をつけよう**：肥満は生活習慣病だけでなく、関節への負担も増加させます。

◆ 来春4月から放課後児童クラブの利用を希望する人は、お申し込みください

放課後児童クラブ利用希望者募集

【問い合わせ】 こども家庭課
☎ 22-9654 FAX 22-9646

放課後児童クラブとは？

共働きなどで、学校終了後などに保護者が家庭にいない小学校の児童を対象に、専任の指導員が家族に代わって適切な遊びや生活の場を提供します。

放課後児童クラブ名	所在地	定員
放課後児童クラブキッズうえの	上野徳居町 3276 番地	40 人
放課後児童クラブふたば	上野紺屋町 3181 番地	70 人
放課後児童クラブフレンズうえの	緑ヶ丘中町 4354 番地	40 人
放課後児童クラブ 第2フレンズうえの	緑ヶ丘本町 4153 番地	60 人
放課後児童クラブウイングうえの	西条 114 番地	40 人
放課後児童クラブ風の丘	ゆめが丘二丁目 11 番地	60 人
放課後児童クラブ第2風の丘	ゆめが丘六丁目 6 番地	60 人
中瀬放課後児童クラブ 「ネバーランド」	西明寺 105 番地	30 人
放課後児童クラブ「げんきクラブ」	桐ヶ丘二丁目 266 番地	55 人
大山田放課後児童クラブ 「あっとほうむ」	平田 25 番地	30 人
河合小学校区放課後児童クラブ 「ポップコーン」	馬場 1045 番地	30 人
壬生野放課後児童クラブ	川東 1659 番地の5	20 人
柘植放課後児童クラブ	柘植町 2407 番地の10	20 人
島ヶ原放課後児童クラブ	島ヶ原 4696 番地の9	20 人
新居放課後児童クラブ	西高倉 3146 番地	30 人
三訪放課後児童クラブ	三田 986 番地の1	25 人
西柘植放課後児童クラブ	新堂 160 番地	20 人

【受付期間】

11月10日(月)～28日(金)(土・日曜日、祝日を除く。)

【受付時間】

○放課後児童クラブ：午後3時～6時

○こども家庭課・各支所住民福祉課：

午前8時30分～午後5時15分

【対象者】 小学生 ※低学年から優先します。

【利用料】

通常利用(平日の放課後など)の場合：月額8,000円
※長期休業時(春・夏・冬休み)などは、別途料金が
必要です。

※申請者多数の場合は、利用できないことがあります。

【申込先】

各放課後児童クラブ・こども家庭課・各支所住民福祉課(電話での申し込みはできません。)

【問い合わせ】

こども家庭課 ☎ 22-9654 FAX 22-9646

伊賀支所住民福祉課 ☎ 45-9105 FAX 45-9120

島ヶ原支所住民福祉課 ☎ 59-2163 FAX 59-3196

阿山支所住民福祉課 ☎ 43-0332 FAX 43-1679

大山田支所住民福祉課 ☎ 47-1151 FAX 46-1764

青山支所住民福祉課 ☎ 52-3228 FAX 52-2174

◆ 社会全体で青少年の健全育成に取り組みましょう

11月は子ども・若者育成支援強調月間

【問い合わせ】 生涯学習課

☎ 22-9679 FAX 22-9692

近年、急速な少子化の進行や就業形態の多様化、情報化社会の進展などにより、青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。

少年による重大な事件、いじめによる子どもの自殺、児童虐待や子どもが被害者となる事件などが毎日のように報道されている中、家庭や学校、地域など社会全体で青少年健全育成に取り組んでいく必要があります。このため、教育委員会と伊賀市青少年育成市民連絡会議では次のことを重点的に取り組んでいきますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

○子ども・若者育成支援広報啓発活動の実施

市内の大型店舗などで街頭啓発活動を行い、市民総ぐるみで青少年の健全育成に日常的に取り組んでいくよう広報啓発活動を推進します。

○青少年に有害な環境をなくす活動などの推進

青少年の非行を誘発しやすい施設などを巡回し、関

係者の協力を求めることで青少年をとり巻く有害環境をなくす活動を推進します。

○研修会などの開催

青少年健全育成に関する講演会や研修会を通じて、青少年の健全育成についての理解を深めていきます。

《青少年センター》

非行問題や交友関係など青少年の悩みを解決するため、伊賀市青少年センター主任補導員が電話や面接で、指導・助言を行っています。お気軽にご相談ください。

【相談場所】

青少年センター(上野ふれあいプラザ 3階)

【相談電話番号】

☎ 24-3251

【相談日・時間】

月～金曜日 午前9時～午後4時(祝日は除く。)

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかどトピックス

コラム

図書・救急など

催し 生涯学習セミナー 2014 (第3～5回)

【テーマ】

今、あらためて知る「伊賀」の魅力～外部に映る伊賀の文化と歴史～

◆第3回：11月15日(出)

【内容】「日本の精進料理と伊賀」
富山大学人文学部
教授 中井 精一さん

◆第4回：12月13日(出)

【内容】「景観史から見た伊賀」
総合地球環境学研究所
客員准教授 内山 純蔵さん

◆第5回：1月31日(出)

【内容】「万葉集から見た伊賀」
京都大学大学院
准教授 佐野 宏さん

※いずれも午後1時30分～3時

【ところ】 ハイトピア伊賀
5階多目的大研修室

※ハイトピア伊賀の駐車場を利用の場合は、講演時間中の駐車料金を生涯学習課で負担します。
※磁気誘導ループを設置します。車椅子での聴講も可能です。

【問い合わせ】

生涯学習課
☎ 22-9679 FAX 22-9692

催し いがまち人権パネル展

【とき】

11月5日(休)～20日(休)
午前9時～午後5時
※土・日曜日を除く。

【ところ】 いがまち人権センター

【内容】 「人権まんがパネル」

11月は1970年代当時の仙台湾務局作のまんがパネルを復刻したものを展示します。今から30年以上も前に現在と同様のさまざまな人権課題が描かれている一方、当時から人権意識の普及高揚のため工夫を凝らした啓発活動が行われていたことがわかります。

【問い合わせ】

いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

～ウィークリー伊賀市～

今月は「子ども・若者育成支援 強調月間」などをお送りします。

お知らせ 秋季全国火災予防運動

【実施期間】

11月9日(日)～15日(土)

【平成26年度全国統一防火標語】

「もういいかい
火を消すまでは まあだだよ」

◆住宅防火

住宅から火事を出さないためには、日頃から火の元をしっかりと管理することです。寝たばこやアイロンの消し忘れなど、ちょっとしたミスが大きな災難につながります。

電話や不意の来客時には、まず火を消してから対応するようにしましょう。火を使用したら、完全に消えたことを確かめるまで、その場を離れないように習慣づけておきましょう。

◆住宅用火災警報器・消火器の悪質な訪問販売・点検にご注意！

住宅用火災警報器の設置が義務化されたことで、訪問販売などの悪質な業者によるトラブルが発生しています。個人宅を訪問して住宅用火災警報器の販売や消火器の点検、薬剤の詰め替えを行い、高額な料金を請求するなどの手口があります。被害を防ぐため、不要な訪問販売に対しては、き然とした態度で、はっきりと断りましょう。

※消防署では個人宅を訪問しての住宅用火災警報器・消火器のあっせんや販売廃棄処分は行っていません。また、特定業者に販売の依頼をすることもありません。

【問い合わせ】 消防本部予防課

☎ 24-9103 FAX 24-9111

お知らせ 全国一斉「女性の 人権ホットライン」強化週間

夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など、女性の人権問題について電話相談を受け付けます。

【強化週間】

11月17日(月)～23日(日祝)

【相談受付時間】

○平日：午前8時30分～午後7時
○土・日曜日：午前10時～午後5時

【相談電話】

☎ 0570-070-810 (全国共通)

【問い合わせ】 津地方務局人権擁護課 ☎ 059-228-4193

FAX 059-213-3319

お知らせ 健康診査はお済みですか

○特定健康診査

【実施期限】 11月29日(土)

国民健康保険に加入の40歳以上の人と、後期高齢者医療制度に平成26年8月31日までに加入した人に受診券を送付しています。

○国民健康保険簡易人間ドック

【実施期限】 11月28日(金)

応募いただいた人に、受診券を送付しています。

○国民健康保険脳ドック

【実施期限】

平成27年3月31日(火)

応募いただいた人のうち、当選者に受診券を送付しています。

※受診券をお持ちの人で医療機関にまだ予約をしていない人は、手続きをお急ぎください。また、キャンセルする場合は、必ずご連絡ください。

【問い合わせ】 保険年金課

☎ 22-9659 FAX 26-0151

お知らせ インターネット公売

市税の滞納処分として差し押さえた財産などをインターネット上のオークション形式で公売します。

落札代金は市の財源として活用しますので、積極的にご参加ください。
※諸事情により中止になる場合があります。

詳しくは、市ホームページでご確認ください。

【市ホームページ掲載開始日時】

11月6日(休) 午後4時

【参加申込期限】

11月17日(月) 午後5時

【入札開始日時】

11月28日(金) 午後1時

【問い合わせ】 収税課

☎ 22-9612 FAX 22-9618

今月の納税

●納期限 12月1日(月)

納期内に納めましょう

国民健康保険税(5期)

※納税は便利な口座振替で

【問い合わせ】

収税課 ☎ 22-9612

募集 税理士相談会

税金・会計のことでお悩みの人は、お気軽にご相談ください。

【とき・ところ】

① 11月15日(土)
午後1時30分～4時30分
名張産業振興センター
アスパア4階

② 12月13日(土)
午後1時30分～4時30分
ハイトピア伊賀 3階

※予約優先。1人30分程度

【対象者】 市内在住・在勤の人

【申込先・問い合わせ】 東海税理士
会上野支部 ☎ 51-0932

<http://www.ict.ne.jp/~zei-ueno/>

【問い合わせ】 課税課

☎ 22-9613 FAX 22-9618

募集 環境ウォッチング ～大河原発所及び 比奈知ダム見学会～

【とき】 11月23日(日祝) 午前中
【内容】 大河原発所・比奈知ダムの見学会

【参加費】 500円

【定員】 30人 ※先着順

【申込期限】 11月14日(金)

【申込方法】

平日の午前8時30分～午後5時15分に電話でお申し込みください。
※雨天決行。内容が変更または中止になることがあります。

※集合場所・時間などは、申し込み時にお知らせします。

※小学生以下保護者同伴

【申込先・問い合わせ】 環境政策課
☎ 20-9105 FAX 20-9107

募集 「未の春展」絵馬募集

1月4日(日)～7日(水)の干支の春展に展示する絵馬を募集します。

【対象者】 市内在住・在勤・在学の高校生以上の人

【出品点数】 1人1点 ※自作に限る。

【応募方法】 上野公民館で用意する板を使って、新年の干支(ひつじ)にちなんだ絵馬を作成してください。
※板は30人分用意しますので上野公民館まで取りに来てください。

【応募期限】 12月8日(月) 必着

※作品はお返しできません。

【応募先・問い合わせ】 上野公民館
☎ 22-9637 FAX 22-9692

催し 「税を考える週間」イベント

◆税理士による税務相談

※事前予約優先

【とき】 11月16日(日)
午前10時～午後4時

【ところ】 ハイトピア伊賀 3階

◆講演会「税制改正で変わる相続税」

【とき】 11月18日(火)

午前10時～11時30分

【ところ】 ハイトピア伊賀 3階

【問い合わせ】

伊賀青色申告会

☎ 26-1016 FAX 51-0525

課税課

☎ 22-9613 FAX 22-9618

催し 寺田市民館 「じんけん」パネル展

【とき】 11月4日(火)～27日(木)
午前8時30分～午後5時

※土・日曜日、祝日は除く。

【ところ】

寺田教育集会所 第1学習室

【内容】 「差別の中で生活を支えた『仕事と産業』」

差別の中で生活を支え、またその時代を支えた仕事と産業を紹介します。

【問い合わせ】

寺田市民館 ☎/FAX 23-8728

募集 公民館サークル活動に 参加しませんか

各地区(上野・いがまち・阿山・島ヶ原・大山田・青山)の公民館では、それぞれ公民館などを利用してサークル活動が行われています。中にはサークルが集まって協議会を結成しているところもあり、活動の成果を披露する場として、年1回発表会や展覧会が各地区で開催されています。

「将棋の相手を探しているんやけども、誰かいないかなあ。」「絵を描いたり、書道を始めてみたいけど、誰か教えてくれる人いないかなあ。」「フラダンスや社交ダンスをしたいけど、どこかでやっていないかなあ。」という人には、サークル活動の紹介や相談を随時行っています。お気軽にご利用ください。

【問い合わせ】

上野公民館

☎ 22-9637 FAX 22-9692

各地区公民館

催し 芭蕉翁生誕370年記念事業 美術セミナー

近世から近代にかけて描かれた芭蕉翁作品を中心に紹介します。

【とき】 11月15日(土)

午後1時30分～3時

【ところ】 ハイトピア伊賀
5階 学習室2

【演題】 芭蕉翁生誕370年記念
「描かれた芭蕉」

【講師】 三重県立美術館

学芸員 道田 美貴さん

【問い合わせ】 三重県立美術館友の
会事務局 ☎ 059-227-2232

文化交流課

☎ 22-9621 FAX 22-9628

催し 認知症の人と家族の会 「伊賀地域つどい・交流会」

【とき】 11月25日(火)

午後1時30分～4時

【ところ】 名張市武道交流館いきいき
(名張市蔵持町里2928番地)

【内容】 認知症の人を介護する家族の情報交換の場です。

【参加費】 200円

※認知症の人は無料。家族の会会員は100円。申し込み不要。認知症の人が参加する場合は、事前に連絡してください。

【問い合わせ】

地域包括支援センター(中部)

☎ 26-1521 FAX 24-7511

催し やまなみ文化祭

【とき】

11月30日(日) 午前9時40分～

【ところ】

ふるさと会館いが 大ホール

【内容】 歌・踊り・演奏などやまなみ文化協会の11サークルが出演

【問い合わせ】 いがまち公民館

☎ 45-9122 FAX 45-9160

催し 青山ふるさと美術文化展覧会

【とき】 11月8日(土)～10日(月)

午前9時～午後5時

※10日のみ午後1時まで

【ところ】 青山ホール

【内容】 絵画・書・彫塑・写真・工芸・生花などを展示します。

【問い合わせ】 青山公民館

☎ 52-1110 FAX 52-1211

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかどトピックス

コラム

図書・救急など

募集 三重大学医学部医学科推薦入試地域枠Bの市長推薦

地域医療に携わる医師を確保するために設けられた推薦入試地域枠Bの出願は、市長の推薦を受けることが要件となります。

【推薦要件】

- 次のすべての要件を満たす人
 - ①三重大学の推薦要件を満たすこと
 - ②扶養義務者が市内に3年以上居住していること
 - ③卒業後、県内で地域医療に携わると確約できること
- ※詳しくはお問い合わせいただくか、市ホームページ・三重大学推薦入試学生募集要項をご覧ください。

【選考方法】 面接

【面接日時】

11月27日(木) 午後3時30分

【提出書類】

学校長の推薦依頼書など

【申込期間】

11月6日(休)～19日(火) ※必着

【申込方法】

学校を通じて、持参または郵送でお申し込みください。

【申込先・問い合わせ】

医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

募集 木津川上流発見講座

【とき】 11月15日(出)

午前9時30分～午後4時

【ところ】 大河原発電所・高山ダム・水辺の築校など

※上野遊水地集中管理センター(小田町242)集合

※笠置山自然公園で昼食予定

【対象者】 小学校5年生以上

【内容】

環境整備・防災施設の見学

【定員】 20人 ※先着順

【申込期限】 11月10日(月)

※詳しくは、お問い合わせいただくか、木津川上流河川事務所ホームページをご覧ください。

【申込先・問い合わせ】

国土交通省 河川レンジャー事務局(一社)近畿建設協会)
☎ 0742-36-8760
FAX 0742-36-8782
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kizujoyo/>
公共基盤推進課
☎ 43-2326 FAX 43-2324

募集 課税課臨時職員

【募集人数】 若干名

【勤務期間】

①平成27年1月6日(火)～3月31日(火)

午前8時30分～午後5時15分

②平成27年2月・3月の20日間

午前8時30分～午後5時15分

※①②とも土・日曜日、祝日を除く。

【勤務内容】 ①給与支払報告書の確認作業や一般事務補助

②申告会場の端末入力作業や一般事務補助

※詳しくはお問い合わせください。

【勤務場所】 課税課

【賃金】 6,045円/日

※距離に応じて交通費支給あり。

【応募方法】 履歴書を課税課へ持参または郵送で提出してください。

【選考方法】 面接

【応募期限】

11月28日(金) 午後5時15分

※郵送の場合は、当日消印有効

【応募先・問い合わせ】 〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

伊賀市財務部課税課

☎ 22-9613 FAX 22-9618

募集 健康向上チャレンジ教室

筋力アップ、脂肪燃焼、健康増進をめざし、心と体の健康づくりにチャレンジしてみませんか?

【とき】 12月2日(火)～平成27年1月30日(金)

○開講式: 12月2日(火) 午前11時～
○調理実習: 12月5日(金) 午前10時～午後1時

【ところ】 青山保健センター運動施設

【内容】 運動指導(有酸素運動・筋力トレーニングなど)・調理実習

※食事改善のアドバイスや開講時、閉校1週間前に体力測定を行います。

【対象者】

市内在住などの18歳以上の人

【定員】 25人程度

【参加費】 ○運動施設利用料(運動プログラム時)

65歳未満の人: 500円

65歳以上の人: 300円

○調理実習料: 500円

【申込受付開始日】 11月11日(火)

【問い合わせ】 青山保健センター運動施設 ☎ 52-4100

受付: 午前10時～午後7時(月

曜日休館)

募集 『紅花染め体験』講座

うばいあくを使った古くから伝わる貴重な紅花染め体験をします。染めた生地は各自持ち帰り、のれんやクッションなどに加工して利用できます。

【とき】 11月20日(休)

午前10時～午後3時

※昼食時間を挟みます。各自昼食を持参してください。

【ところ】 青山公民館 3階

【募集人数】 20人 ※先着順

【参加費】 800円

【申込受付開始日】 11月4日(火)

【申込先・問い合わせ】 青山公民館
☎ 52-1110 FAX 52-1211

募集 離乳食教室

【とき】 11月20日(休)

午後1時30分～3時30分

【ところ】 ハイトピア伊賀

4階多目的室

【内容】

講話「離乳食1～2回食を中心に」、離乳食の調理と試食、栄養相談

※先着15名まで託児あり(電話予約制)

【定員】 20人 ※先着順

【持ち物】 母子健康手帳・筆記用具・エプロン・三角巾・手ふきタオル

【受付開始日】 11月7日(金)

※電話予約制

【申込先・問い合わせ】

健康推進課

☎ 22-9653 FAX 22-9666

募集 自衛官などを募集します

○陸上自衛隊高等工科学校

【試験日程】 平成27年1月24日(出)

【試験会場】 陸上自衛隊久居駐屯地(津市久居新町975番地)

【応募資格】 中学校を卒業(見込みを含む)した17歳未満の男子

【応募期限】 平成27年1月9日(金)

○自衛官候補生

【試験日程】 11月21日(金)・22日(土)のいずれか1日

【試験会場】 陸上自衛隊久居駐屯地(津市久居新町975番地)

【応募資格】

18歳以上27歳未満の男子

【応募期限】 11月19日(火)

【申込先・問い合わせ】

自衛隊三重地方協力本部伊賀地域事務所 ☎ 21-6720

または「三重自衛隊」で検索



素敵な庭づくり役に役立てて

庭木の整枝剪定講習会 (10月3日)

伊賀市造園事業協力会の指導のもと、上野公園で庭木の整枝剪定講習会を行いました。参加者はまず、あらかじめ切り落とされたつばきやもみじの枝を使って、はさみを入れる角度やどの位置で枝を切ればよいかなどの指導を受けました。また、持ち手の長い刈り込みばさみを使って、さつきの植え込みの剪定を行いました。はさみの柄を持つ位置や、植え込みに丸みをつけるコツなどを聞き、丁寧に刈り込みました。

この日は32人が参加し、時折、熱心に質問をしながら、それぞれの腕に磨きをかけました。



▶▲アドバイスを受けて真剣に枝を整える参加者



お干菓子で季節を感じる

青山公民館公開講座第6回おはなし広場(10月3日)

青山図書室で、公開講座の1つであるおはなし広場を開きました。今回は、和菓子職人の中村伊英さんを講師に迎え、干菓子づくりに挑戦し、木々の花や葉が秋風に吹き寄せられた風情を表現する「吹き寄せ」をつくりました。



この日、参加した人は「お干菓子づくりは夢中になれる、リフレッシュできました。このお干菓子を通じて自然の美しさを改めて感じました。」と話し、伝統的な干菓子づくりを楽しんでいました。

◆ 通告は支援のはじまり

11月は児童虐待防止推進月間です

【問い合わせ】 こども家庭課
☎ 22-9654 FAX 22-9646

子どもたちを虐待から守るため、子どもたちからのサインに気づき、専門機関に相談・通報・通告をする必要があります。児童虐待とは次のような行為です。

- 身体的虐待: 殴る、蹴る、投げ落とす、叩きつける、激しく揺さぶる、やけどを負わせるなど
- 性的虐待: 子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど
- ネグレクト: 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れていかないなど
- 心理的虐待: 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう (DV: ドメスティックバイオレンス) など

児童虐待は、子どもの体や心を傷つけ健全な発達や成長を損い、子どもの心身の発達にさまざまな影響を及ぼします。通告は国民の義務です。虐待の事実確認はいりません。その内容や通報・通告者についての秘密は守られます。

現在子育て中で、子どもの養育について悩みがある場合も、気軽にご相談ください。

【児童虐待の相談・通報・通告先】

- 福祉相談調整課 ☎ 22-9609
- こども家庭課 ☎ 22-9654
- 各支所住民福祉課
- 学校教育課 ☎ 47-1283
- 健康推進課 ☎ 22-9653
- 三重県伊賀児童相談所 (三重県伊賀庁舎内)
☎ 24-8060
- 伊賀警察署生活安全課 ☎ 21-0110
- 名張警察署生活安全課 ☎ 62-0110
- 伊賀少年サポートセンター ☎ 64-7837
- 三重県中勢児童相談所 (午後5時以降や土・日曜日、祝日の緊急時) ☎ 059-231-5902
- 配偶者暴力相談支援センター (DVが関わっている場合) ☎ 059-231-5600
- お近くの民生児童委員・子どもが通っている学校や保育所(園)・幼稚園など



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかどピックアップス

コラム

図書・救急など

芸術にふれる秋

大山田公民館 陶芸教室 (10月4日)



▲参加者は慣れない手つきで悪戦苦闘しながらも作品づくりを楽しみました。

大山田公民館陶芸教室の第1回を開き9人が参加しました。講師は陶芸家の霧道昭次さんで、まず初めに霧道さんがどのようにして焼物が作られるのか実演を兼ねて工程に沿って説明しました。そのあと実際に参加者が作り始めました。まず、何

を作るのかを決めて、作るものに合わせた大きさの土台を作り、輪状にした粘土を重ね合わせていきます。そしてろくろを回し、ぬれた鹿の皮を粘土にあて思いの形に仕上げていきました。

この教室は合計3回開催し、1番気に入った作品を来年の2月21日・22日に開催される大山田芸術文化祭で展示する予定です。



幽玄の世界を堪能

第31回上野城薪能 (10月4日)

伊賀の秋の風物詩薪能を、伊賀上野城本丸広場で開催しました。

これは、毎年伊賀上野城で開いている催しで、屋外に作られた舞台をかがり火が照らす中、能と狂言を楽しむことができます。

この日は、和泉流の野村又三郎さんらが出演した狂言『棒縛』のあと、能の演目、『船弁慶』が演じられました。源義経が兄頼朝に追われ武蔵坊弁慶とともに船で西国へと逃れる道中を描いた物語で、観世流の武田邦弘さん、吉井紹智さんらが出演し迫力ある舞台を繰り上げました。

この夜、市内外から約1,300人が伊賀上野城を訪れ、幽玄の舞台を楽しみました。



▲能「船弁慶」の様子

第1回い・こ・か市長杯 サッカー交流フェスタ



伊賀市・甲賀市・亀山市の3市はともに市制10周年を迎えます。これを記念して、サッカーを通じて親睦を深め、郷土物産展の催しで人と物の交流を図る催しを行います。

【とき】 11月8日(土) 午前9時～午後4時30分

【ところ】 甲賀市水口スポーツの森 多目的グラウンド

【問い合わせ】

鹿深サッカー協会事務局 ☎ 0748-62-3413

伊賀市スポーツ振興課 ☎ 22-9635 FAX 22-9666

大企業の余剰パソコンを、一般家庭に有効活用頂くエコ推進活動です。初心者の方・サポート終了のXPをお使いの方に

すぐ使える ウィンドウズ7ノートパソコンお安く譲ります

ウィンドウズ7正規認証済み ウィルス対策セキュリティ付 初心者向けパソコンレッスンビデオ付 麻雀・将棋・囲碁ゲーム付 年賀状ソフト付 ワープ・表計算・プレゼンソフト 2013年版付 DVD-CD視聴可

7日間お試し頂けます

初期設定費用は価格に含まれています。
東芝 15.3型 (6ヶ月の機器保証)
CPU :celeron (2.00GHz) メモリ : 2GB
HDD : 160GB DVD-マルチ
一台当り 29,000円 (税込、送料込み)

非営利団体法人(NPO)には、マイクロソフトオフィス2010付 一台当り 35,000円にてご用意があります。
マイクロソフト社 MRR 株式会社フォーインク



左記以外3ギガ、4ギガ 30,000円台の高規格 機種ご希望の方はお問い合わせ下さい。

お申し込み・お問い合わせ

TEL 052-380-9211

月曜～金曜 (9時～17時)

Email info@forincs.com

混雑時はEメールにてお申し込み下さい。

マイクソフト社 MRR 株式会社フォーインク 愛知県名古屋市中区東桜 2-3-7 東カンビル1F リングロー事業部 古物許可番号第431030009376号

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。

カラダのこと
おしえて!

眠れない…を改善するために

ぐっすり眠るためにまずは生活改善 それでもダメなら薬を上手に



◆成人の5人に1人が不眠症

現在、成人の5人に1人に不眠症状があるとされています。不眠の改善にはまず、生活習慣の見直しが必要です。朝は決まった時間に起き、3度の食事は規則正しく摂り、軽い運動習慣を身につけるようにしましょう。昼寝をするなら、午後3時までの30分以内にし、カフェインを含むコーヒーやお茶類、タバコは覚醒作用があるため夕食以降は控えましょう。また、アルコールは眠りを浅くするため控えましょう。それでも不眠の症状が改善されない場合は睡眠薬が必要となる場合があります。

◆不眠には4つのタイプがあります

《不眠のタイプ》

- ①入眠困難：床についてもなかなか眠りにつけない
- ②中途覚醒：夜中に何度も目が覚め、その後眠れない
- ③早期覚醒：普段より早く目が覚め、それから眠れない

④熟眠障害：眠りが浅く、

熟睡した感じがしない

睡眠薬も超短時間作用型・短時間作用型・中間型・長時間作用型に分けられ、不眠のタイプによって使い分けられます。

◆気になる場合は早めに相談を

睡眠薬には、筋弛緩作用を持つものがあり、ふらつき、転倒を起こす恐れがあります。ふらつきが気になる場合は、筋弛緩作用の少ない薬への変更が必要です。また、昼間ぼーっとしてしまう場合は、薬の持ち越し効果が疑われますので、適切な作用時間の薬への変更が必要です。

現在の不眠のタイプを医師に正しく伝え、あなたに合った薬を処方してもらいましょう。また、副作用症状が気になる場合は早めに医師または薬剤師に相談しましょう。
(薬剤師 小澤一夫)

【問い合わせ】 上野総合市民病院 ☎ 24-1111



国民年金のはなし

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が 発行されます

～年末調整・確定申告まで大切に保管を!～

国民年金保険料は、所得税と住民税の申告の際に全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。この社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が必要です。年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書または領収書を添付してください。

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」

- 1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人：今年11月上旬に日本年金機構本部から送付されます。
- 10月1日から12月31日までの間に国民年金保険料を今年始めて納付した人：翌年の2月上旬に送付されます。

なお、家族の国民年金保険料を納付した場合も、本人の社会保険料控除に加えることができますので、家族あてに送られた控除証明書を添付の上、申告してください。

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」につ

いての照会は、控除証明書のはがきに表示されている電話番号にお問い合わせください。

【ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル】

☎ 0570-058-555 (ナビダイヤル)

一般の固定電話からかける場合、全国どこからでも市内通話料金で利用できます。ただし、一般の固定電話以外(携帯電話など)からかける場合は通常の通話料金がかかります。

○「050」から始まる電話でかける場合

☎ 03-6700-1144 (通常の通話料金がかかります。)

※自動音声案内に従って「3」を押してください。

※かけ間違いにはご注意ください。

【受付期間】 11月4日(火)～平成27年3月16日(月)

【受付時間】

○月～金曜日 午前9時～午後7時

○第2土曜日 午前9時～午後5時

※祝日(第2土曜日を除く。)、12月29日～1月3日は利用できません。

【問い合わせ】

保険年金課 ☎ 22-9659 FAX 26-0151

各支所住民福祉課

津年金事務所 ☎ 059-228-9188

伊賀警察署だより



被害者支援相談窓口

犯罪や事故にあつと、「けがをする」「お金を盗まれる」といった直接的な被害だけでなく、「経済的・精神的に苦しめられる」などの問題に直面します。

警察では、被害者支援窓口を設け、被害にあわれた人の悩みごとの相談や経済的支援、再被害防止の措置などの支援活動を行っています。

また、(公社)みえ犯罪被害者総合支援センターでは、犯罪被害者やその家族へのサポートを行い、被害からの回復や社会復帰に向けたさまざまな支援を行っています。一人で悩まず、安心してご相談ください。

また、犯罪などの被害で悩んでいる人がいれば、みえ犯罪被害者総合支援センターをご紹介します。

○みえ犯罪被害者総合支援センター

☎ 059-221-7830 (なやみなし)

午前10時～午後4時

※土・日曜日、祝日、年末年始を除く。

【問い合わせ】 伊賀警察署 ☎ 21-0110

名張警察署 ☎ 62-0110

公共交通を利用しましょう

関西本線で行こう!! ウォーキングイベント開催



JR 関西本線の利用促進や整備促進に向けた取り組みとして、伊賀市が加盟している関西本線木津亀山間複線電化促進同盟会では、JR 関西本線の加太駅から出発するウォーキングイベント『晩秋のかめやま鉄道遺産群と東海道「関宿」を巡る』を11月29日(土)に開催します。

JR 関西本線沿線の豊かな自然や鉄道開業当初から残るトンネルや橋梁などの貴重な鉄道遺産群を見学でき、また、ウォーキングの後には、国の重要伝統的建造物群保存地区選定30周年を迎えた東海道「関宿」を散策できる見どころいっぱいのイベントです。ぜひ、JR 関西本線に乗ってご参加ください。

なお、参加には、事前申し込みが必要ですので、11月21日(金)午後5時までに、電話にて亀山市商工業振興室(☎ 0595-84-5049)までお申し込みください。

【問い合わせ】

総合政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9672

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

気づきと解放 —大山田支所振興課—

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

日常生活の中で、私たちは定められた法律や条例、職場、学校、地域、家庭などにおける決まりごとなど、さまざまなルールに従って生活しています。もちろん、ルールに従うことは重要なことですが、守るべきルールとは違う部分で、私たちは知らず知らずのうちに、自分自身の中で「こうしなければならない」「こうであるべき」と決めたことに、必要以上に縛られてしまっていることがあります。場合によっては、それを他人にあてはめてしまっているかもしれません。

たとえば、職場での仕事のやり方において、自分は「こうしなければならない」と考えていることが、職場のすべての人にあてはまることはありません。しかし、特に自分に余裕がなく周りが見えないときなど、その自分の考え方に固執してしまうことがあります。

私たちは、一人ひとりそれぞれ積み上げてきた考え方や価値観をもち、それがさまざまな生き方につ

ながっています。もし、自分が間違いないと考えていたものの見方や知識が、偏見などに基づいたものであったとしたら、それに固執するあまり、他の人の考え方や価値観、生き方を認めることをせず、自分から遠ざけようとして、差別につながってしまう場合もあると思います。それだけでなく、多様な考え方を受け入れる可能性が小さくなることで、自分自身の生き方をも限定し、自分の人権をないがしろにしてしまうことにもなります。

「啓発」の意味は、人が気づかないでいることに気づき、理解してもらうことだそうです。他者への啓発ももちろん重要ですが、まずは、自分自身が気づき理解し、誤った考え方を持っていたなら改める「自分への啓発」が必要です。長年積み重ねた考え方をすぐに改めることは難しいことかもしれません。しかし、それが自分自身を縛っているものから自分を解放することにつながるのではないのでしょうか。

■ご意見などは人権政策・男女共同参画課 ☎ 47-1286 FAX 47-1288 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

図書館 だより

《問い合わせ》

上野図書館 ☎ 21-6868 FAX 21-8999
 いがまち図書室（いがまち公民館内）☎ 45-9122
 島ヶ原図書室（島ヶ原会館内）☎ 59-2291
 阿山図書室（あやま文化センター内）☎ 43-0154
 大山田図書室（大山田公民館内）☎ 47-1175
 青山図書室（青山公民館内）☎ 52-1110

今月の新着図書

☑一般書

『平和をわれらに！漫画が語る戦争』
 水木 しげる他／著
 水木しげる、手塚治虫、藤子・F・不二雄、
 石ノ森章太郎…4人の巨匠たちが平和への願い
 を込めて描いた12編の作品集です。



☑絵本

『ぼくはうさぎ』
 山下 哲／作、福田 利之／絵
 さえちゃんのために犬になろうと決心した、
 うさぎのころん。大きな声で吠えようとしたり、
 こわい顔をしてみたり、がんばってみたのです
 が…。とってもかわいい絵本です。

■一般書

『おわらない音楽』 小澤 征爾／著
 『奇祭』 杉岡 幸徳／著

■児童書

『台風の子バイバル』
 洪 在徹／文・鄭 俊圭／絵
 『光と音のない世界で』 池田 まき子／著

■絵本

『ちびうそくん』
 乾 栄里子／作・西村 敏雄／絵
 『なぞかけどうしよう』
 中川 ひろたか／作・大島 妙子／絵
 『希望の牧場』 森 絵都／作・吉田 尚令／絵

図書館（室）からのお知らせ

ことばだけで伝えるおはなし会

～ストーリーテリングの世界～第4回

ストーリーテリングは、覚えたおはなしを、本を持たずに生の声だけで語ります。語るおはなしの多くは外国や日本の昔話です。心に響く語りをお楽しみください。 ※申し込み不要

【と き】 11月9日(日) (各30分程度)

○第1部 午後1時30分～：一般向け

○第2部 午後2時30分～：5歳から楽しめます。

【ところ】 上野図書館 2階視聴覚室

【読み手】 津おはなしの会「マザー・グース」

【問い合わせ】 上野図書館

11月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

と き	ところ	催物 (読み手)
8日(土)	10:30～ 上野図書館	おはなしの会
11日(火)	14:15～ 島ヶ原老人福祉センター	読み聞かせ教室(ネェよんで)
12日(水)	10:30～ いがまち図書室	ミニサロンひまわり
15日(土)	10:00～ いがまち図書室	読み聞かせ会(ぶらんこ)
	10:30～ 大山田図書室	おはなしたいむ(きらきら)
16日(日)	10:30～ 阿山図書室	読み聞かせ会(はあと&はあと)
	10:30～ 阿山図書室	読み聞かせ会(はあと&はあと)
18日(火)	10:30～ 阿山図書室	読み聞かせ会(はあと&はあと)
19日(水)	15:00～ 上野図書館	えほんの森(よもよも)
22日(土)	10:30～ 上野図書館	おはなしの会
26日(水)	10:30～ 上野図書館	おひざでだっこのおはなし会
	15:30～ 青山図書室	おはなしなあに？
12月3日(水)	10:00～ いがまち図書室	絵本の時間(お話の国アリス)



図書館(室)めぐり その5

青山図書室

青山公民館の中にある図書室です。読み聞かせ会「おはなしなあに？」やボランティアグループによるおはなし会、歴史講座などのさまざまな公開講座を開催しています。

また、市内図書館(室)の本の取り寄せや返却と県立図書館の本の受け取りもできますのでおこしください。

～青山図書室～ 阿保 1411 (青山公民館内)

【開館日】 ○火～金曜日 午前9時～午後5時

○土・日曜日 午前10時～正午・午後1時～4時

【休館日】 毎週月曜日・毎月末最終火曜日(図書整理日)・祝日・年末年始

11月の二次救急実施病院

◎各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
*小児科以外の診療科です。						1 名張
2 名張	3 岡波	4 名張	5 岡波・名張	6 名張	7 上野	8 上野
9 岡波	10 岡波	11 上野	12 岡波・名張	13 名張	14 上野	15 名張
16 名張	17 岡波	18 名張	19 岡波・名張	20 名張	21 上野	22 上野
23 岡波	24 岡波	25 上野	26 岡波・名張	27 名張	28 上野	29 上野
30 名張	※重症者が重なり、診察できない場合があります。また、非当番日は救急の受け入れを行いません。 ※二次救急（重症）の人が対象です。					

《実施時間帯》 平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分

《実施時間帯（岡波総合病院）》

月曜日：午後5時～翌日午前9時 水曜日：午後5時～翌日午前8時45分
日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

救急車での搬送限定ではありませんが、必ず事前に連絡が必要です。

【上野総合市民病院（☎24-1111）】

【名張市立病院（☎61-1100）】

【岡波総合病院（☎21-3135）】

◎伊賀市救急相談ダイヤル24

☎0120-4199-22

（フリーダイヤル）

医師・看護師などが24時間年中無休体制で、救急医療や応急処置などに関する相談に応じます。（通話料・相談料：無料）

◎伊賀市応急診療所（一次救急）【診療科目】 一般診療・小児科

【所在地】 上野桑町1615番地 ☎22-9990

【診療時間】 月～土曜日：午後8時～11時

日曜日・祝日：午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時

※受付は、診療終了時刻の30分前までをお願いします。

◆夜間・日曜日および祝日診療を行っている医療機関については、三重県救急医療情報センター（☎24-1199）へお問い合わせください。

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・がめやま

甲賀市

亀山市

忍びの里に坐す丈六仏 ～甲賀三大佛～

全国でも珍しく、三体の丈六仏が密集する甲賀。大池寺・釈迦如来坐像、櫛野寺・薬師如来坐像、十楽寺・阿弥陀如来坐像の「甲賀三大佛」に祈願すれば、過去・現在・未来の安穏が叶うと言われています。

秋深まる甲賀へ、ぜひお越しください。

【ところ】

○大池寺（甲賀市水口町名坂1168）

☎0748-62-0396

○櫛野寺（甲賀市甲賀町櫛野1377）

☎0748-88-3890

○十楽寺（甲賀市土山町山中351）

☎0748-68-0364

【問い合わせ】

甲賀市観光協会

☎0748-60-2690

FAX 0748-60-2362

（撮影：藤原弘正）



復原された加藤家主屋

～亀山藩主石川家家老加藤家屋敷跡～



亀山市では、平成21年に国の認定を受けた「亀山市歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史的なまちづくりが進められています。今年3月には、江戸時代後期に亀山藩主石川家の家老職を務めた加藤家の屋敷跡の文化財建造物が復原されました。安永7（1778）年頃に建築された武家屋敷の建物の土間や板間などが現在に引き継がれていることはとても珍しく、武家の生活ぶりを知ることができる貴重な遺構です。皆さんも亀山城周辺の城下町を散策してみませんか。

【公開日】 土・日曜日、祝日（年末年始を除く。）

【公開時間】 午前9時～午後4時30分

【ところ】 亀山市西丸町545-1 ※観覧無料

【アクセス】 JR亀山駅下車北へ徒歩約10分、東名阪自動車道「亀山IC」から亀山方面へ約10分

【問い合わせ】 亀山市市民文化振興局まちなみ文化財室 ☎0595-96-1218

【問い合わせ】 甲賀市広報課 ☎0748-65-0675

【問い合わせ】 亀山市広報秘書室 ☎0595-84-5021

市長の伊賀じまん

—きのこの思い出—



▶月見の献立の一部。
写真中央上の一品は、
にんじんと“焼初
茸”のすり山芋がけ



秋は山の幸であるきのこがおいしい季節ですね。
きのこと言えば、昭和63年の秋、母が知り合いの方々と一緒に芭蕉の「月見の献立*」を再現したことがありました。旬の食材は時期が早すぎたり遅すぎたりして揃わず、現代で再現することは難しい献立でした。中でもハツタケ（初茸）は再現した当時にはすでに伊賀では手に入らず、岩手県盛岡市から取り寄せたことが思い出されます。今では手に入らないハツタケも、芭蕉が過ごした頃はふんだんに採れていたのでしょう。

食べられるきのこを雑茸、古いことばでクサビラともいいますが、以前は伊賀でも豊富に採ることができました。シメジやネズミアシ、コウタケ（香茸）などが思い浮かびます。ネズミアシは、その形状や色合いをネズミの足にみたてたもので、幼い頃は



▲上野商工誌（大正2年）に掲載された「マツタケの砂糖漬」の広告

毒きのこに見えて本当に食べられるのかと思ったものでした。コウタケは高級な食材で、葬式や法事などの“人寄り”するとき用いられました。私も見たことはありますが、食べたことは一度もないままです。

また、伊賀でもマツタケが豊富に採れた時代がありました。「マツタケの砂糖漬」というお菓子があったことを記憶している人もいないのでしょうか。マツタケ狩りに行くと、ブルーベリーのような実をつけるウマノスズという木をよく見かけました。（島ヶ原ではこの実のことをボロンボロンと呼ぶそうです。）この実を食べながらマツタケを探して歩いたものです。

きのこにはさまざまな思い出がありますが、秋になると、そういったきのこが味わえる環境を伊賀に取り戻せたらと考えます。

（伊賀市長 岡本 栄）

*1694年（元禄7年）8月15日に芭蕉が新庵に門人達を招いてもてなしたときの献立。

伊賀市の文化財 86

国登録有形文化財 開化寺 三重塔・観音堂・門 (小田町)

小田村（現小田町）は藩政時代から、伊賀盆地を流れる服部川、木津川の氾濫で水害に度々見舞われましたが、とりわけ「午年の水害」と言われる明治3年（1870）の洪水によって多くの家屋や水田が流され、尊い人命も失われました。これを機に周辺の被害村落を含めて高台への集団移住「避水移居」が行われ、小田の新しい移転地は「明治屋敷」と名付けられました。

開化寺は、小田村にあって水害に見舞われた森田山称念寺と疾追山福寿院が明治11年（1878）に合寺し、一方の福寿院跡に仮本堂が建立されたことに始まります。三重塔は、小田村の平井天神の別当寺である浄瑠璃寺が廃寺となり、ここにあった元文4年（1739）に建てられた塔を曳家してその道中、開化寺の境内に移されました。



▲開化寺 三重塔

現在の塔は当初の塔を模して大正2年に再建されたものです。観音堂は、明治22年（1889）に菅原神社の庚申堂を購入して移転改築したと伝えられています。当初は南面していましたが、昭和11年（1936）に移動、西面させています。18世紀後半の建立と想定されます。



▲開化寺 観音堂

▼開化寺 門



3つの建物は、地域の歴史をあらわすシンボルとして平成23年10月28日に、国の登録有形文化財に登録されました。
*曳家：建物を解体せずに移動させる工法。

文化財課
☎47・1285 FAX47・1290